

研修テーマ	事例検討をしよう（準備編）
研修のねらい	自校で事例検討を行うための基本的な進め方や事前の準備について知る。 [キーワード] 目的や主訴の確認 実態把握シートによる行動観察
期待される効果	・基本的な進め方が分かることで、焦点化された話し合いができる。 ・実態把握シートの活用により、視点をもって子どもを見取ることができる。
事例検討のための事前の準備	1 対象となる子どもについて確認・共有し、主訴（子どもの困難さ）を明確にする。 2 事例検討会の日時や収集メンバーを決定しておく。
進め方の例と留意点(集合研修) ※留意点	<p>※全体の時間や演習等の時間は、目安として設定していますので、調整して進めてください。</p> <p><b>事例検討をしよう～基本的な進め方と事前の準備～ 5分（視聴のみ）</b></p> <p>研修にかかる時間（5分）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>はじめの説明・動画の視聴           <p>今回は事例検討に向け、どのように話し合いを進めるかを確認します。</p> </li> <li>動画視聴</li> <li>まとめ           <p>事例検討は目的を意識し、話し合っていくことが大切です。参加メンバーみんなで、子どもを支えるための有意義な話し合いにしていきましょう。 次回の話題提供者は○○先生のクラスの○○さんについてです。 「主訴：○○○○」について、みんなで考えていきます。次回の検討は○月○日です。参加される先生方に実態把握シートを配付しますので、当日までに子どもを見取り、その情報をメモして持ち寄ってください。どうぞよろしくお願いします。</p> </li> </ol> <p>※まとめとして、<u>管理職からひと言</u>いただくとよいでしょう。</p>